

第 151 期 中間期 株主通信

2014年4月1日 - 2014年9月30日



株式会社 明電舎

証券コード: 6508

トップメッセージ

「つながり力」「機動力」、 そして社会インフラを支える「使命感」 —社会から信頼される企業を目指して

1897年(明治30年)の創業以来117年、私たちはものづくりメーカーとして、様々な技術や製品・サービスを創出し、社会に貢献するために日々研鑽を重ねてきました。その根底には、お客様や社会の期待に応え続けたいという私たちのチャレンジ精神、そして私たちの「ものづくりの心」があります。

お客様との広範なネットワークや当社グループ内の部門を越えた連携などの「つながり力」、お客様の要望や課題解決にスピーディー、かつ、柔軟に応える「機動力」、社会インフラを支える「使命感」を持って、お客様、そして社会から信頼される企業を目指しています。

現在当社グループが取り組んでいる中期経営計画「POWER5」は、2014年度が最終年度となります。経営環境に即した施策を実行し、この中期経営計画を確実に仕上げるとともに、次の飛躍に向けて準備を進めてまいります。

明電グループはより豊かで住みよい未来社会の実現に貢献するため、今後も新しい技術と価値の創造にチャレンジし続けます。



取締役社長

浜崎 祐司

株主のみなさまへ

CONTENTS

1 トップメッセージ



3 株主のみなさまへ

4 財務データ/財務ハイライト

5 明電舎の事業分野



6 営業活動の状況

7 特集



9 トピックス



13 会社概要/株式情報

14 株主メモ

株主のみなさまには格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第151期第2四半期(平成26年4月から平成26年9月まで)の営業の概況についてご報告申し上げます。

当上半期におけるわが国の経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減の影響が残るものの、企業収益や設備投資意欲は高水準を維持しており、緩やかな景気回復基調で推移しました。一方で、世界経済は、東欧や中東での情勢不安の緊迫化、新興国の経済成長率の鈍化懸念などにより、先行きは依然として不透明な状況が続くものと思われまます。

このような中、当社グループでは、中期経営計画「POWER5」フェーズⅢ最終年度の目標達成に向け、中長期的に成長が期待できる「電力・エネルギーシステム」「自動車・鉄道等の輸送システム」「水処理システム」などの各分野向けに変電・配電製品、発電製品、電力変換製品、ICT応用製品等の「競争力のある製品と独自性のあるシステム」を提供することで、成長基盤の確立を確かなものにすべく取り組んでおります。

その結果、当社グループの連結業績は、売上高790億7千9百万円、営業損失49億6千9百万円、経常損失50億9千8百万円、四半期純損失は33億円となりました。

なお、中間配当につきましては、株主のみなさまには誠に申し訳なく存じますが、見送りとさせていただきます。

期末配当につきましては、一株当たり6円とさせていただきます。

明電グループは、中期経営計画「POWER5」フェーズⅢの重点施策を着実に実行しながら、第151期の業績予想達成に向けてグループ一丸となって取り組んでまいります。

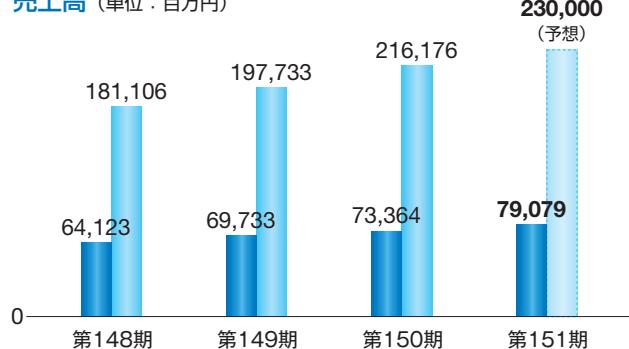
株主のみなさまにおかれましては、何とぞよろしくご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年11月

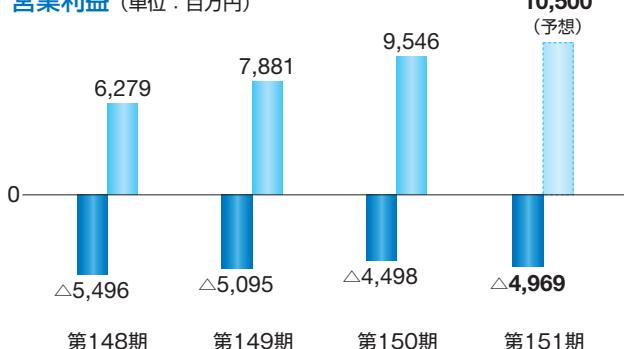
財務データ / 財務ハイライト(連結)

■ 第2四半期 / ■ 通期

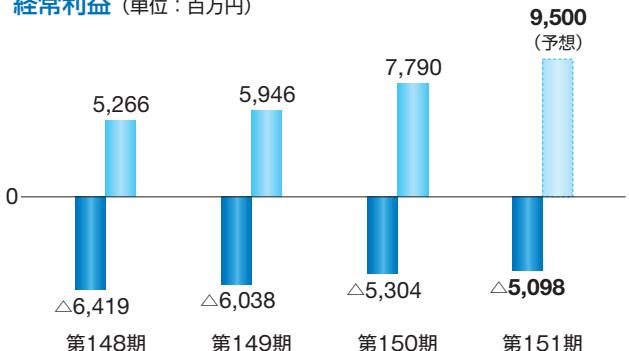
売上高 (単位: 百万円)



営業利益 (単位: 百万円)



経常利益 (単位: 百万円)



四半期(当期) 純利益 (単位: 百万円)



(単位: 百万円)

	平成24年度末	平成25年度末	平成26年度第2四半期末
総資産	224,623	248,379	232,322
流動資産合計	127,672	143,534	125,791
固定資産合計	96,950	104,844	106,530
負債合計	166,546	187,771	179,229
内有利子負債	57,447	55,044	48,220
少数株主持分	970	1,042	1,046
自己資本	57,107	59,565	52,045
自己資本比率	25.4%	24.0%	22.4%

明電舎の事業分野

社会システム事業分野

国内外の電力会社・官公庁・鉄道・ビル・工場などに、非常用・常用発電設備、水力発電設備、送変電・配電設備、鉄道向け直流変電設備などの製品の製造・販売を行うほか、電力品質安定化や太陽光発電・風力発電などの再生可能エネルギーやスマートグリッドなどのエネルギーソリューションサービスを提供しています。

また、自治体の上下水道分野には、各種処理場用電気設備の整備などに関する製品の製造・販売を行うほか、浄水場の維持管理業務受託などのソリューションサービスを展開しています。

1

産業システム事業分野

エレベータ用、繊維機械用、産業車両用、電気自動車用モータ・インバータや、半導体製造装置メーカーや太陽光パネル製造装置メーカー向けに真空コンデンサや産業用コンピュータを製造・販売するコンポーネント事業分野と、自動車メーカー向けにダイナモメータ等の自動車試験装置や工場向け搬送機器等のシステムを納入する動力計測・搬送事業分野が含まれています。

2

エンジニアリング事業分野

納入製品のメンテナンスを行う事業分野です。

機器製造から保守・点検、維持管理・運転管理まで施設全体に関わる業務を一括して請け負うワンストップサービスをご提供しています。

3

不動産事業分野

ThinkPark Tower(東京都品川区大崎)を中心とする保有不動産の賃貸事業を行っています。

4

その他の事業分野

電気化学計測機器や電気絶縁材料の製造・販売、従業員の福利厚生サービス、物品販売などが含まれています。

5

営業活動の状況

セグメント別 売上高 (単位: 百万円)



社会システム事業分野

売上高は、太陽光発電関連が下半期にずれた減少により、前年同期とほぼ同水準の43,652百万円となりました。

- 他社との競争が激化しており、受注環境は厳しさを増しております。主力である発電製品、変電・配電製品、電力変換製品の徹底した原価低減により競争力を強化するとともに、海外市場における営業活動の強化に取り組んでおります。



産業システム事業分野

売上高は、エレベータ用モータや半導体製造装置に組み込まれる機器の需要が堅調であったことに加え、三菱自動車工業様のアウトランダーPHEVの販売が好調で、同車に搭載される当社モータ・インバータの需要も高い水準で推移したため、前年同期比31.2%増の23,868百万円となりました。

- 日系自動車メーカーの海外展開を背景に、ダイナモメータなど試験設備の拡販に注力するとともに、EV・PHEV用モータ・インバータの量産に取り組んでおります。



エンジニアリング事業分野

売上高はわが国の経済の回復傾向を反映し、メンテナンス需要が高まったため、前年同期比5.7%増の9,327百万円となりました。

- 昨年行った事業の再編効果を活かし、ワンストップサービスの展開を積極的に行っています。



不動産事業分野

業務・商業ビルThinkPark Tower(東京都品川区大崎)を中心とする保有不動産の賃貸事業を行っており、売上高は前年同期と同水準の1,643百万円となりました。



その他の事業分野

電気化学計測機器や電気絶縁材料の製造・販売、従業員の福利厚生サービス、物品販売など報告セグメントに含まれない事業については、売上高は前年同期比17.2%減の9,571百万円となりました。



さらなるグローバル展開と事業拡大を

Special Feature 1

インドの変圧器製造販売会社と 資本提携

当社は、本年3月31日、インドの電力用変圧器製造販売会社であるPrime Electric Limited (以下PEL社)と資本提携しました。

PEL社は、最新鋭の大形電力用変圧器製造設備を保有し、インド国内市場はもとより中東、ロシア、CIS諸国、アフリカなどの輸出市場へのビジネス拡大にも力を入れた幅広い顧客を持つ新興の変圧器製造販売会社です。

当社は、長年に渡り培った当社の技術・品質とPEL社の新鋭生産設備とのシナジーを活かし、インド国内外の変電プロジェクトの受注拡大を目指すほか、日系進出企業や高品質電力用機器を求める現地企業に対し、幅広い製品とサービスを提供していきます。

当社は、シンガポールの変圧器・スイッチギヤ生産拠点および中国生産拠点を中心に、東南アジア、中国での変電・配電事業を展開してまいりました。今回PEL社とパートナーを組み、インドおよびインド以西の新興国への参入を図ることで、さらなるグローバル展開と事業拡大を推進していきます。



PEL社を訪問した
浜崎社長



India

Prime Electric Limited

進めています。



ジュロン実証実験開所式
(当社 浜崎社長)

Special Feature 2

セラミック平膜の 海外展開

当社の水処理分野における歴史は古く、1922年に日本の近代的下水処理施設に電気設備を納入したのが始まりです。以来、日本全国の水処理施設に、電気設備を納入してきましたが、海外、民需への進出も視野に入れた水処理分野での新たなビジネス展開として、排水のろ過工程に用いるセラミック平膜を開発し、量産を開始しました。

本年3月7日、当社はシンガポール政府の水事業全般を所管する政府機関であるシンガポール公益事業庁(以下PUB)とセラミック平膜を用いたMBRプラントをジュロン水再生センターに建設し、運転を開始しました。当社とPUBはこれまでも生活排水などの分野で実証実験を行ってきましたが、今回新たに建設した設備は処理能力4,550m³/日と大規模で、セラミック平膜の工業排水再利用における有効性を示す大きな実績となります。

当社は、今回の実証の成果を活かし、今後さらなる需要の拡大が見込まれる排水処理・再利用の市場で、セラミック平膜の拡販を目指します。



セラミック
平膜による
ろ過工程



ろ過後の水



Singapore

Public Utility Board, Republic of Singapore



Topics

1

シンガポールで 鉄道用電力設備を受注

当社は本年9月、シンガポールのLand Transport Authority (陸上交通庁/以下、LTA)から新規建設路線である地下鉄トムソン線向け鉄道用電力設備 (Contract T253) を約100億円で受注しました。

本プロジェクトは、シンガポール北部と市中心部を結ぶ全長30キロメートルの新地下鉄路線の車両基地と新設される22駅に、変圧器などの電力設備一式を納め、機器の設計・供給及び現地据付・試験工事を担当し、2020年に完成する予定です。将来は東地区線に延伸となる計画です。

これまで当社グループは、LTA向けに1980年代の地下鉄開業当初から多くの鉄道用電力設備を納入してきており、その実績・技術力が評価につながりました。

今後も、明電グループは、国内・海外における電鉄用製品の競争力強化を図り、コア事業のひとつである電鉄事業の拡大に注力してまいります。



電力用酸化亜鉛形
ギャップレス避雷器
(MOSA)



Topics
2

避雷器が 世界的な賞を受賞

当社は本年8月、1975年に世界に先駆けて開発した「電力用酸化亜鉛形ギャップレス避雷器(MOSA)」で、世界最大の電気・電子関連の学会であるIEEE*1から「IEEEマイルストーン*2」を受賞しました。日本では今まで約20件が受賞していますが、重電機器単体としては日本初の受賞です。

当社は1972年から電力用酸化亜鉛素子(ZnO)の開発に着手し、その素子を用いて従来形避雷器の欠点であった耐多重雷性能や耐汚損性能を向上させ、画期的なMOSAの開発に成功し、1975年に世界初となる66kV電力用MOSAを九州電力株式会社様に納入しました。

当社が開発したこのMOSAは、避雷器の発展に大きく貢献し、その後も国際規格にも採用され、実用化から約40年過ぎた今でも世界の電力用避雷器の主流として活躍しています。

今後も当社は、社会インフラを下支えする使命感と機動力を持って更なる製品提供に取り組んでまいります。

*1 IEEE(正式名称:The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.) 米国に本部を置く世界最大の電気・電子技術者の学会組織で「アイ・トリプル・イー」と呼称。世界190カ国以上に42万人を超える会員を擁し電気・電子・情報・通信等の技術分野で指導的な役割を担っている。

*2 マイルストーン 開発から25年以上経過し、社会に大きく貢献したと認められる歴史的業績を表彰する制度。

「2014年度 グッドデザイン賞」を受賞

当社はこのたび、「サイドフォーク形無人搬送車」で、「2014年度グッドデザイン賞」(主催:公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞しました。

「サイドフォーク形無人搬送車」はパレット搬送に適したフォークリフトタイプの無人搬送車です。開発にあたっては、コンパクト化・全方位走行による作業性能向上とともに、使用者の安全性・安心感の向上を図り、使いやすさを追求したデザインに取り組みました。

審査委員からは「フォークの配置を進行方向から横向きの配置へ大胆に切り替えたことで、転回動作の削減、必要通路幅の減少により倉庫業務自動化を推進した。フォークを横向きに配置することで生じる使用者の認知上の課題を、フォルムとカラーリングによって解決を図っている。機械部分をむき出しにせず、カラーリングの明暗を使い分けシンプルで威圧感を感じさせない外観となっている。それらの点が統合され、安全性を高める合理的な産業用機器デザインとなっている。」として高く評価されました。

当社は今回の受賞を契機に、搬送システムのより一層の品質向上を目指します。

サイドフォーク形
無人搬送車





Topics

4

CSRの取り組み

アスクラロ沼津を 応援しています

アスクラロ沼津は、2013年度に東海リーグ1部を勝ち抜いてJFLに昇格した、静岡県沼津市をホームタウンとするフットボールチームです。

明電舎沼津事業所は、地域活動の一環としてアスクラロ沼津を応援しており、ユニホームスポンサーとなっています。同チームの「明るく豊かな街づくりに寄与する」という目的に賛同し、社内外の実行委員を中心に同チームの試合前の場外イベントを企画・実行するなど、「スポーツを通じた地元の賑わいづくり」に貢献しています。

本年9月21日のアスクラロ沼津 対 HondaFCの公式戦は当社がスポンサーの「明電舎マッチ」として開催され、地元フットボールチームを地域のみならずともに声援する楽しい一日となりました。

当社はこれからも、様々な活動を通じて地域とのコミュニケーションを大切にしていきます。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
定時株主総会	6月
公告方法	電子公告 http://www.meidensha.co.jp/denshikoukoku
上場証券取引所	東京・名古屋
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎0120-782-031 (フリーダイヤル)

お知らせ

ホームページのご案内

当社ホームページでは、当社グループの事業概況や財務情報、CSR活動に関する情報など、当社に関する各種情報を積極的に公開しております。



<http://www.meidensha.co.jp>

明電舎

検索

▶ 株式に関するお届け先及びご照会先について

証券会社に口座を開設されている株主のみなさまは、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。

▶ 特別口座株主のみなさまへ

特別口座（証券会社に口座を開設されていない株主のみなさま）についてのご照会及び住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

なお、特別口座に記録された株式を売却するには、あらかじめ証券会社にご本人の取引口座を開設し、株式の記録を振替える必要がありますので、この機会に証券会社の口座開設もご検討をお願いいたします。

（証券口座の開設については、証券会社にご相談ください。）

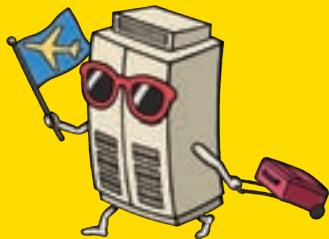
特別口座で単元未満株式をお持ちの株主のみなさまは、単元未満株式を当社が買い取る制度もございますので、ご希望がございましたら、左記の電話照会先にお問合せください。

▶ 配当金の受領方法について

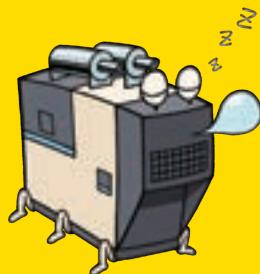
株券電子化により、すべての銘柄の配当金を一つの金融機関の口座で受領する方法などが可能になりました。この機会に、安全で確実な配当金の口座振込みによる受領方法のご検討をお願いいたします。

（配当金受領方法の指定については、証券会社にご相談ください。）

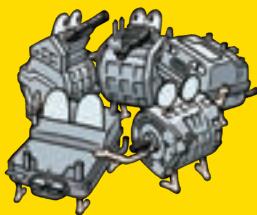




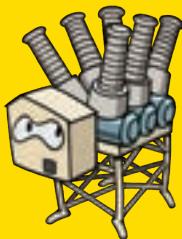
太陽光発電用PCS



非常用ディーゼル発電装置



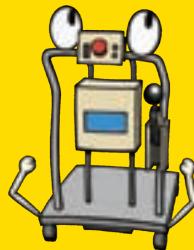
HEV駆動システム



真空遮断器



エレベータ駆動システム



無人搬送車キット



セラミック平膜システム



カテナリーアイ



無停電電源装置



シャシダイナモメータ

このたび、性格診断サイトを
開設しました！株主のみなさま、
ぜひアクセスしてください。

世界初！重電メーカーによる性格診断！

明電 インフラズ 性格診断

あなたは明電舎の製品でいうと何タイプ？
生年月日を入力すれば、ピッタリと診断！

PC・スマホで検索



明電舎

検索